

# にのへ

市議会

だより

26号

平成25年  
2月15日



12月定例会

市役所の部局が県庁へ移転

一般質問 11名登壇

松の丸幼稚園の園児たち

-にのへえきまつり-

第3回臨時会の概要

# 12月定例会

## 市役所の一部部局が

### 県の合同庁舎へ移転！



県の合同庁舎（石切所字荷渡）

平成25年4月から、市役所の  
農林課、農業委員会事務局、建設課、都市計画課  
が県合同庁舎5階・6階へ移転します。

#### 移転について

行政サービスの向上と業務の効率化、県と市の事務事業の連携を図る体制を目指すため、市が県に対し一部部局の移転を要望していましたが、この度県との協議が整い、移転することが決まりました。このことにより、災害発生時の迅速な対応、相談窓口・苦情処理のワンストップ化などが期待されます。

関連補正予算	移転する部署
○二戸地区合同庁舎改修費負担金 (庁舎改築工事一式他)	農林課
○構内電話設備一式、庁内案内表示スタンド ツトワーク構築	農業委員会事務局

○LANシステム専用線新設、ネットワーク構築	1,790万円	1,081万円
○構内電話設備一式、庁内案内表示スタンド	420万円	"

# 一般会計補正予算

**3億452万円を減額**

一般会計予算は、3億452万円を減額し、予算総額は**166億5400万円**になりました。

## 補正予算

○障害者自立支援給付費

4799万円

○二戸地区広域行政事務負担金

1129万円

○保育所運営費

1644万円

○福岡中学校建設費

△3億2990万円

※入札減、設計の精査及び年割額の変更によるもの

○学校施設設備基金積立金

△5000万円



福岡中学校建設工事

■議案第2号「市道の構造の技術的基準等を定める条例」ほか、議案第3号～議案第8号

## 条例

「地域の自主性及び自立性を高めるための改革の推進を図るための関係法律の整備に関する法律」による道路法・河川法・水道法等の一部改正に伴い条例の制定・改正をするものです。

# 人事案件

次の委員について、それぞれ同意、適任とする答申をしました。

## 教育委員

一二戸市福岡字八幡下 清川泰氏（留任）

## 農業委員

（議会推薦） 沢藤祐子氏（新任）

一二戸市福岡字裏小路

## 農業委員

（議会推薦） 沢藤祐子氏（新任）

## 農業委員

次の方が議会から推薦されました。

## 二戸市淨法寺町合名沢

小田島功氏

二戸市石切所字村松

安藤直美氏

二戸市釜沢字平中

小原洋子氏

## 陳情

## 二戸市石切所保育所の存続を求める陳情書

### 陳情者

二戸市石切所 立花義宏

### 結果

不採択

# 質疑応答

答

## 県合同庁舎への移転

### 問

市役所は、本庁舎・教育委員

会分庁舎・総合福祉センター等が

あり、今回も一部部局を県合同庁舎に移転するが、市役所のあり方が見えてこない。市民にとつては、

ワンストップで用事が足りることが一番だと思う。本庁舎も老朽化

してきており、将来的には市役所

자체の県合同庁舎への移転など、

市役所の機能とハードの部分でどう考えているのか。

答 理想的には1カ所で仕事が完結できればいいのですが、本庁舎も老朽化し、来年度耐震化補強工事をしなければなりません。いずれ本庁舎は、できるだけ延命しながら使用していく予定です。

将来的な県合同庁舎への移転は、今後の県の動きも見極めながら

ら進めて参ります。

**問** 広域振興局体制になり、本局が久慈市に置かれたが、この再編によるメリット・デメリットについて伺う。

また、二戸市は今後広域振興局体制について、どういう考え方・スタンスで臨んでいくのか。

**答** 広域振興局体制のデメリットとしては、県との協議を進めるラインとして、二戸地域振興センター、県北広域振興局、県本庁というように1つのクツシヨンが増えたことや、案件によつては、担当が県北広域振興局なのか二戸地域振興センターなのか分からぬということが挙げられます。

また、現在の4振興局体制は、平成22年4月からであり、まだ2年余りしか経過しておりませんので評価は難しいと考えますが、今後は県と市の役割分担や連携の全体的な方について協議を重ねながら振興局体制を検討していく必要があると思つております。



市役所の農林課、他3部局が移転します

**問** 市役所から3つの課と1つの委員会事務局が移転するが、市役所の空いたスペースはどのように活用するのか。

**答** 市役所は、来年度耐震化補強工事を行う予定で、ある程度のスペースを確保しながら工事をしていく予定です。その後は、内部で協議しながら教育委員会等に入つて頂ければと思っております。

**答** 市役所から3つの課と1つの委員会事務局が移転するが、市役所の空いたスペースはどのように活用するのか。

**問** 部局の移転に関する案内板はどこに設置するのか。

**答** 案内板は、県合同庁舎の正面玄関付近に市役所の看板を設置し、建物の中にも庁内案内表示ス

**問** 部局の移転に関する案内板はどこに設置するのか。

**答** 案内板は、県合同庁舎の正面玄関付近に市役所の看板を設置し、建物の中にも庁内案内表示ス

**問** 市役所全体の職員のスキルアップにつなげていくよう考えて参ります。

**問** 市役所全体の職員のスキルアップにつなげていくよう考えて参ります。

が、この法律をもちまして、市町村に権限を委任するものです。

その方法としては、市町村が条

例で自主的に定めても良いと省令等を参照して定めても良いと

いうことであり、そのような趣旨のもとで、今回二戸市でも条例を

**答** 今回の条例（議案第2号～8号）の中に市独自で自由度を持つて作成した部分があるのか。

**答** 今回の条例（議案第2号～8号）の中に市独自で自由度を持つて作成した部分があるのか。

**答** 今回の条例（議案第2号～8号）の中に市独自で自由度を持つて作成した部分があるのか。

**答** 今回の条例（議案第2号～8号）の中に市独自で自由度を持つて作成した部分があるのか。

## 条例の趣旨について

**問** 今回提案の議案第2号～8号の条例は、「地域の自主性及び自立性を高めるための改革の推進を図るための関係法律の整備に関する法律」によるものだが、全体の趣旨を伺う。

**答** 平成20年の地方分権に係る勧告は、国からの義務付け・枠づけが非常に多く、自治体は、その枠

賛成	討論	反対
一般会計補正予算		
畠中泰子 議員		
賛成と 反対		

**問** 部局の移転による人材育成の効果について伺う。

**答** 移転する部局だけではなく、

障害者自立支援給付金5263万円、東日本大震災被災者住宅再建費用支援100万円など評価。浄法寺分署整備では、敷地面積や機能の問題で十分な吟味と対応を。広域振興局体制整備には4市

## 議決結果

町村と議会は県北振興の立場から懸念を表明してきた。二戸市の事情による一部部局移転になつてはならず、県と市の連携による広域全体の底上げ、振興を図る総括・方針と各種申請証明書や駐車場の住民不便の解消策を明確に。

北部広域環境組合設立の前提が崩れた。白紙に戻し、住民参加の環境行政、分散処理の方向でごみ減量に本格的に取り組む、長寿命化を求める。

### 賛成

及川正信 議員

二戸市の農林・建設関係の担当課が県の合同庁舎に移転するメリットは、かなり大きいと思う。県の機構が変わつたことをいかにしてその地域ではメリットのある方向に活用するかを検討することが市民の利便性からいってもプラスになると思う。

また、議会人としても県との接

点が持ちやすいという意味では、プラスになるだろうし、市ではこれを一つの施策なのだという位置

づけをしながら取り組む必要があると思う。

### 二戸市石切所保育所の存続を求める陳情書

### 賛成

西野省史 議員

石切所保育所の存続に関する陳情は、9月定例会でも不採択になつたが、なんとしても廃止しないでほしいという思いから提出されたものだと思っている。廃止になれば共稼ぎ家庭の負担が大きくなつて子育てができなくなるので、石切所保育所は絶対に廃止しないでほしいという地域の声であると重く受け止めている。

石切所保育所は、定員削減しても存続すべきであり、存続することで子育ての不安は解消される。

各議員におかれても駅前地区の民意に賛同頂きたい。

### ※土地区画整理事業特別会計補正予算

### 賛成討論

畠中泰子 議員

## 議決結果一覧

議案番号等	議案名等	結果
議案第1号	二戸市復興産業集積区域における固定資産税の課税免除に関する条例	可決（全員）
議案第2号	市道の構造の技術的基準等を定める条例	可決（全員）
議案第3号	二戸市準用河川の河川管理施設等の構造の技術的基準を定める条例	可決（全員）
議案第4号	二戸市都市公園に係る移動等円滑化のために必要な特定公園施設の設置に関する基準を定める条例	可決（全員）
議案第5号	二戸市水道事業の布設工事監督者及び水道技術管理者に関する条例	可決（全員）
議案第6号	二戸市営住宅条例の一部を改正する条例	可決（全員）
議案第7号	二戸市都市公園条例の一部を改正する条例	可決（全員）
議案第8号	二戸市下水道条例の一部を改正する条例	可決（全員）
議案第9号	教育委員会の委員の任命について	同意
議案第10号	平成24年度二戸市一般会計補正予算（第9号）	可決（全員）
議案第11号	平成24年度二戸市下水道事業特別会計補正予算（第3号）	可決（全員）
議案第12号	平成24年度二戸市生活排水処理事業特別会計補正予算（第2号）	可決（全員）
議案第13号	平成24年度二戸市土地区画整理事業特別会計補正予算（第3号）	可決（全員）
議案第14号	平成24年度二戸市水道事業会計補正予算（第3号）	可決（全員）
諮問第1号	人権擁護委員候補者の推薦について	適任
推薦第1号	二戸市農業委員会委員の推薦について	推薦
陳情第1号	二戸市石切所保育所の存続を求める陳情書	不採択（少數）
発議第1号	二戸市議会会議規則の一部を改正する規則	可決（全員）
発議第2号	二戸市議会政務調査費の交付に関する条例の一部を改正する条例	可決（全員）
発議第3号	二戸市議会委員会条例の一部を改正する条例	可決（全員）

# 市政を問う！！

## 一般質問

今定例会では、11人の議員が一般質問を行いました。

### 今後の農業と土壤診断について ・植物栄養学の必要性について



國分 敏彦 議員

①二戸市は、農家に対して土壤診断をどのように指導してきたのか。  
②土壤診断に対するアドバイスはどうしているのか。  
③今後、健康に寄与する作物をつくるためにも植物栄養学の勉強が必要だと思う。職員研修の体制を伺う。  
④来年度、農林課等が県の合同庁舎に移転する予定であるが、メリットと詳細について伺う。

市長

①平成5年に、県・市・JA等の連携組織として二戸地方農林水産振興協議会が設立されてから、年1回、土壤分析事業を行っています。

②天台寺の修復に合わせて、記念館を「かつら庵」周辺に移転する必要があるのでないか。

### 瀬戸内寂聴記念館の移設について

①瀬戸内寂聴記念館の年度別来館者数を伺う。

②天台寺の修復に合わせて、記念館を「かつら庵」周辺に移転する必要があるのでないか。



瀬戸内寂聴記念館  
(浄法寺総合支所2階)

検査結果を対象者に配布してご利用頂いています。

②これまで県の農業改良普及センターと連携し、簡易分析（7項目）を実施し、各農家の個別相談にも対応しています。

また、今年度より二戸地方農林水産振興協議会において、10項目の分析検査を実施し、具体的な施肥設計まで示せることになります。

③職員研修については、土づくり研究会主催の講習会や岩手県立農業大学校主催の公開講座等に職員を派遣しております。

④市農林課は、二戸農林振興センター・二戸農業改良普及センターが設置されている県合同庁舎5階に移転することになります。市と県は、色々な連携のもと業務が遂行されており、指導窓口の一元化や事務事業の効率化が図られることが見込まれています。

①平成21年度は1万1059人、平成22年度は8166人、平成23年度は2716人、平成24年度は11月末で3014人となつており、年々入館者が減っています。また、天台寺の拝観者数も減少傾向にあり、減少に歯どめをかける必要があると考えております。

②市の後期基本計画では、旧岡本小学校跡地に歴史文化交流施設の整備を掲げており、記念館もその中に組み入れる方向で考えております。この歴史文化交流施設は、平成26年度からの事業着手を予定していますので、天台寺の修復（平成25年度～平成28年度）に合わせて移転するというわけにはいかないと考えます。

市長

②缶バッヂは、市観光協会が二戸  
PRに活用していくと考えて  
おります。

②缶バッヂは、市観光協会が二戸  
PRに活用していくと考えて  
おります。

**市長**

①今年度作成した座敷わらしの着ぐるみは、今までにどのようなイベントで使つたのか。  
また、今後はどのようなイベントで使うのか。  
②座敷わらしの缶バッヂは、今後作成しないのか。  
③座敷わらしを使った商品開発を行いう予定はあるのか。

**市長**

①座敷わらしの着ぐるみは、金田一温泉協会が7月に製作してお  
り、金田一温泉まつり・二戸まつり・金田一温泉観光リンク園取穂祭  
にのへえきまつり等の市内のイベントに使用され、首都圏の物産展にも出演しております。

今後は、各種イベントやキャラ  
イベンツへの参加など、二戸市の  
PRに活用していくと考えて  
おります。



高村 人司 議員

## 市内の中学校の校歌について



座敷わらし「亀麿（かめまる）君」  
(金田一温泉まつり)

がができると思うが、私は「ずさむ

をPRするために製作したもので  
す。合計で3200個をつくりま  
したが、現在若干の在庫しか残つ  
ておりません。今後は、予算の範  
囲内で追加製作していくというこ  
とです。

③商品開発については、金田一溫  
泉活性化プランの中で、お土産品  
や亀麿君グッズの開発について意  
見が出されており、現在検討中で  
す。今後関係者を交えて協議し、  
取り組みたいと考えております。

その一つは、校歌の作詞・作曲  
者についてであり、もう一つは校  
歌の歌詞の意味、どのような思い  
でつくれたものなのかということ  
である。以上のこととは、一つの  
歌として考えた場合とても大事な  
ことだと思う。まして、校歌とな  
れば尚更のことである。現在の児  
童・生徒には教えているものな  
か伺う。

## 教育長

校歌については、小学校では全  
校朝会や学級活動、中学校では音  
楽の授業で教えております。

また、作曲者等については、紹  
介する場面は多くないと想います  
が、学校によりましては教えてい  
るようですし、先生方にも研修し  
てもらっております。

各学校では、作詞・作曲者を含  
めて校歌を体育館の壁面に大きく  
掲示しており、子ども達が学校生  
活のあらゆる機会に校歌を歌うこ  
とや歌詞に触れることで学校や地  
域に対する愛情・愛着といったも  
のが醸成されていると考えていま  
す。

②市内の宿泊施設は県北青少年  
センター



岩崎 敬郎 議員

## 二順目の岩手国体について

平成28年の「いわて国体」では、  
二戸市で剣道競技が行われること  
になつてお、次の点を伺う。

①来年度、国体準備室を市長部局  
に設置し、準備室はスポーツセン  
ターに隣接する「ワーケインにの  
へ」に置くべきではないか。

②宿舎については、約850人分  
が必要だと見込まれる。市内の宿  
泊収容人員を伺う。また、一戸町  
でも「なぎなた競技」が行われる  
ので、開催時期をずらして宿泊施  
設を共有するべきではないか。

## 市長

①来年度、国体準備室を市長部局  
に設置する方向で考えておりま  
す。また、ワークインの一室に國  
体準備室を設置すれば効果的です  
が、ワークインの利用者に不便を  
かけることになりますので検討し  
たいと思います。

②市内の宿泊施設は県北青少年

の家を含めて16施設、収容人員1016人となっています。ただし、施設の状況も様々ありますので実行委員会で検討して頂く必要があると思います。

また、一戸町とは競技日程をずらすことで協議をしております。

### 言葉の教育について

①今般教育指導要領が改正され、小学校で英語教育が導入されたが、市内の小学校の対応はどのようになっているのか。

②方言はその土地の歴史を語るときに欠かせないものである。学校では地域を学ぶ時間を利用し、お年寄りの協力を得て方言に触れる機会を作つてみてはどうか。

### 教育長

①小学校では5・6年生が年間70時間、外国語のコミュニケーション能力を養うこと目標として様々な活動を行っています。現在も各小学校に外国人A.L.T（指導助手）を派遣しており、外国語活動は順調に進んでおります。

②方言については、5・6年生の国語の時間の「話すこと・聞くこと」の領域の中で指導しています。

また、学校では地域の方々との交流の中で、方言に触れる機会が

ありますが、今後も工夫していくたいと考えています。

### 社会資本の老朽化について

市の老朽化した社会資本が散見されるが、市の財産を古い順序に列挙して頂きたい。

また、その整備にはどのような対応をしていくのか。

### 市長

市の建物で古いものは、川又集会所（福岡）、旧坂本小学校、仁左平中学校、旧御返地診療所等で、市の施設全部では619棟となっています。

今後の整備については、建物の台帳を整備し、更新計画を検討する必要があると考えています。



旧坂本小学校

### 地方分権改革を踏まえたあるべき条例について

①地方分権一括法が制定された今日、自治体が地域特性に応じた条例をつくり、まちの活性化に資るべきだと考えるが如何か。

②「二戸市宝を生かしたまちづくり条例」は、施行されてから何がどう変わり、まちづくりにどちらどの力になつたのか。

③もつと多角的・総合的にまちづくり政策の取り組みと実現に向けた条例をつくるべきではないか。

また、当市では、地域振興条例・

産業育成条例で実効性のあるものは少ないのでないか。

④「二戸市環境基本条例」では、市の責務や市民の協力が規定されているが、実態を伺う。

⑤条例は、何年かに一回評価を行い、実態に合わなければ条例を改正すべきではないか。

### 市長

①自治体が独自に考え、他の自治



及川正信 議員

体と競い、地域の特性に応じた条例を制定し、色々な取り組みを行うことが重要であると考えます。

②地域の宝探しを進める中において、全国エコツーリズム大会の開催、門崎の「淨門の里づくり協議会」の天皇杯受賞、雑穀の特産品開発など、この条例を制定したことにより、交流人口の増加、地域づくり・人づくりに成果を上げていると考えております。



門崎の「淨門の里づくり協議会」が天皇杯を受賞しました

③地域を活性化させるためには、自治基本条例等の制定がいいのか、総合計画等で具体的な施策を示すべきか、より実効性のある方法を検討して参ります。

④市では、騒音・水質・放射線等

折爪岳には、山桜の見どころがたくさんありますので、県立自然公園内を整備するため、県と協議し登山コースを設定できるよう検討して参ります。

山桜の普及については、市内全域に広がりを図るとともに、様々な桜を鑑賞できる環境づくりに努めて参りたいと考えております。

予算のあり方について、根本的に考え直す必要がある。交流人口増を促す観光産業の振興に取り組まない限り、二戸市は財政・経済とも強くなることは難しいと考える。来年度からでも年次計画を立て、「山桜日本一のまちづくり」に取り組む考え方を持つてはどうか。

### 市長

の環境状況の把握に努め監視とともに、民間との協働の取り組みとして汚水処理施設の普及、一斉清掃活動、新エネルギー導入量の拡大等に取り組んでいます。

⑤条例・規則の中に実情に合わなくなつたものがあるかもしれませんので、定期的に点検し必要に応じて改正して参ります。

### 新年度予算の在り方にについて

### 九戸政實公のドラマ化と九戸城址のPRについて



西野省史 議員

駅や国道・県道に看板を設置するべきではないか。

### 市長

①直木賞作家の高橋克彦氏が九戸政實公を主人公として、「天を衝く、秀吉に喧嘩を売った男・九戸政實」を連載し、その後、ドラマ化を働きかけるため、NHKの関係者を招待し、「天を衝く」の出版記念パーティーを開催しております。

①今年は復興元年であり、今こそNHKの大河ドラマに九戸政實公を売り込むチャンスである。強力な運動を展開すべきではないか。

②ドラマ化を促進するためには、九戸政實公の単行本やダイジエスト版を発行することから始めなければならないと思う。単行本等を来訪者やテレビ局等の関係機関へ配布することにより、市の活性化に繋がるのではないか。

九戸の乱は、旧南部藩に関わることから、ドラマ化を含めて関係市町村と連携を図りながら、郷土の英傑を検証して参りたいと考えています。

### 教育長

③戦国時代の終えんは九戸城であると認めてもらうような情報発信を行うことが大切であると思うが、どのような姿勢で取り組むのか。

④九戸城址には、土井晩翠が九戸城の悲劇を聞き、筆をとつた「荒城の月」の歌碑がある。これをもつとPRするべきではないか。

⑤九戸城址のPRのためにもつとこれまで九戸城関連の印刷物

には、戦国時代の終えんは九戸城であるという点を明記しております。

ビデオでもこの点を最大限強調しますし、埋蔵文化財センターの放映で、埋蔵文化財センターの放映

このよう取り組みから徐々に認識されてきたのではないかと期待しておりますが、今後は市ホームページ等を通じ、積極的に周知を図りたいと考えます。

④「荒城の月」の歌碑については、九戸城のパンフレット等に写真を掲載しておりますが、今後はホームページ等を活用し、全国に発信して参ります。

⑤九戸城の案内板は現在も市内にあります。新規に設置することは今後検討して参ります。



土井晩翠の「荒城の月」の歌碑  
(九戸城址)



鈴木 忠幸 議員

## 来年度予算編成について

①来年度予算は、小保内市長にとって現任期の実質最終年度の予算となる。その観点で来年度予算編成に向けた市長の方針について伺う。

②市長は就任時、地区懇談会等の機会を積極的に持つと強調していたが、地区懇談会は就任直後に開かれただけである。市民意識の把握の為にも来年度予算編成作業とあわせて地区懇談会を開催すべきではないか。

### 市長

①来年度予算は、福岡中学校建設事業等によりプライマリーバランスが赤字になる見込みであるため、後期基本計画の期間中でプライマリーバランスが黒字になるよう市債発行額を調整して参ります。

また、産業振興・雇用創出にもしっかりと取り組み、やり残している自主防災組織の設立・ごみの減

量化にも取り組んで参ります。

②地区懇談会で意見を伺うことは必要だと思いますが、自分達のまちは自分達でつくるため、地域づくりを本気で話し合う場に積極的に出ていこうと考えております。

## 任期付職員雇用方針について

①3月議会で、保育士の任期付フルタイム勤務職員と短時間勤務職員の雇用のあり方を検討するとい

う市長答弁があつたが、その検討内容を伺う。

②公立保育所運営の中期的指針について、検討結果を示して頂きました。今年度の公立保育所の中途の入所状況とそれに対応した職員採用状況について伺う。

### 市長

①保育士の任期付職員の雇用については、児童の新規入所者数、職員勤務形態、最小経費で効果を上げること、保育士の雇用形態の多様化等を勘案したものであります。途中入所児童に対する職員補充は、従来の臨時職員等に加え、任期付の職員もあらかじめ試験により名簿登載し採用しております。

②運営方針の策定は遅れており、方針の要点を報告します。一つ目は運営方針の見直しとともに、子ども・子育て支援事業計画を策定する。二つ目は、待機児童を出さない運営を進め、市と民間保育所の協議会を設置し、連携した取り組みを行う。三つ目は、病後児保育・障害児保育等の検討を進める。

四つ目は、石切所保育所廃止後は、当分の間、3園の保育所で運営を行うというものです。

③石切所保育所は児童2名増、職員採用なし。堀野保育所は児童7名増、日々雇用・臨時職員を採用。金田一保育所は児童4名増、職員名増、短時間勤務職員を採用しております。

## 教育課題について

①学力の向上について、教育施政方針の「二戸授業モデル」の中身と成果について伺う。

②中学生海外派遣研修事業については、国際交流の意義についてどのように考えて研修内容を構成したのか伺う。また、これまでの研修成果をどのように検証し、今後の事業のあり方や方向性に結びつけようとしているのか。

③当市におけるいじめの実態と危機管理のあり方について伺う。

また、越境入学も含めて児童・生徒を救うための考え方を伺う。

①この授業モデルは、3つのポイントがあり、第一は授業の最初に課題をはつきりさせること。第二は、子ども達が自分で考え説明することを通して学習の課題を解決すること。第三は、学んだ内容を振り返ることです。成果としては、児童生徒自らが考え・書く・発表



市では保育所運営方針を策定しています  
(堀野保育所)



清川 明彬 議員

## 一般質問

する主体的な学びが展開されるようになつたこと等です。

②国際化の時代の中で、異なる文化の人達との交流を通して、国際的な視野を持つ子どもを育成する事が大切であると考えています。今年度は、田中館博士没後60年であるため研修先をイギリスとし、田中館博士の業績を学び、研修生が将来の生き方についても考える機会となると期待しております。

研修成果としては、研修生が積極的にリーダー的役割や模範を示す等、学校生活を活性化させる原動力になっています。今後も広く社会に貢献できる人間に育つてくれる事を期待しております。

③8月末のいじめの件数は、小学校92件、中学校56件で、そのうち約86%が解消されていると判断しております、解消に至っていない事例も各学校が全力で解決を図っています。いじめ問題への危機管理対応の基本は、第一に事実関係を正確に把握すること。第二にチム会議により問題状況の把握と理解をすること。第三にサポートチムを編成し対応することです。市教育委員会では、いじめ・不登校等を理由とした就学先変更をます。

許可しており、保護者等と相談の上、最善の対応をするよう進めています。



中学生海外派遣研修事業  
(平成25年1月：イギリス)

## 市長 地域の教育力

市長は、公約の中で地域の教育力について触れているが、地域の教育力の充実に対する考え方について伺う。

当市では教育運動推進協議会が主体となつて教育運動に取り組んでいますし、教育委員会でも学校施設開放、放課後児童教室、楓陰舎きぼう塾なども実施しております。今後も地域の教育力の重要性を認識し、その支援に努めて参ります。

## 子育て3法の具体化について



山田 誠 議員

①子育て支援に関するニーズを把握し、「子ども・子育て支援事業計画」作成への取り組みについて  
②努力義務として設置が定められている「地方版子ども・子育て会議」について  
③幼保連携型の「認定子ども園」の拡充について  
④「小規模保育」「保育ママ」など地域型保育給付への取り組みについて  
⑤病児保育は、医師の管理のもと保育するもので実施は容易ではありません。病後児保育は、今後検討しなければならないと考えています。放課後児童クラブについては、放課後子ども教室という似た事業もありますので、関係部局と協議したいと思います。乳児家庭全戸訪問事業は、今まで実施していますが、今後もきめ細かな情報提供等をしていきたいと考えております。

③当市では、保育施設の選択肢は複数あると思いますので、現状のまま状況を見て行きたいと思っています。

④国から該当施設の要件が示された際は、施設と連絡を取り申請の事務調整を行つていきたいと思います。

⑤当市では、保育施設の選択肢は複数あると思いますので、現状のまま状況を見て行きたいと思っています。

議の場を設けたいと考えています。

## 市長 広がるコンビニ交付について

①平成27年度に子育て3法の施行が見込まれるので、平成26年度に「子ども・子育て支援事業計画」を作成しなければならないと考えています。

②平成25年度には、市と民間保育所・幼稚園の事業者とで事前に協

市長 コンビニ交付については、東北

コンビニエンスストアで住民票等を交付する「コンビニ交付」の導入について、市長の認識と対応を伺う。



## 固定資産税の減免と 対応策について

①市長は、消費税増税に賛成か反対かのアンケートに、「どちらとも



短角牛の放牧（稻庭岳）

の飼養頭数も減少している中、市でも乾草調製業務、種牛の安定供給等の様々な支援事業を行ってきています。今後も関係団体と連携しながら飼養農家への支援に取り組んで参ります。

市営牧野では、黒毛和牛等の放牧を行つており、利用農家・放牧頭数ともに増えています。今後も補助事業の活用等を図り、畜産振興に努めて参ります。

③市内の県営風力発電施設や送電線の鉄塔等施設の固定資産税の取り扱いはどうなっているのか。

④たばこ廃作農家の乾燥室の戸数と固定資産税額を示し、償却資産の削除の動きもあれば伺いたい。

⑤葉たばこ廃作農家の乾燥室の戸数と固定資産税額を示し、償却資産の削除の動きもあれば伺いたい。

⑥子ども手当について、現在のデフレの状況下では思い切った手当を考えなければならないと思うが、見解を伺う。

⑦民主党政権が発足して3年余りになるが、政治不信による責任が大変大きいと思う。市長の見解を伺う。

⑧TPP問題は、国内のマイナス部分を整理してから取り組むべきであり、第1次産業を主とする地方自治体はリスクが大きすぎると思うが見解を伺う。

⑨「人・農地プラン」「戸別所得補償」は、わずか3年余りの政策であるが、プラス・マイナスはどうだったのか。

⑩また、「戸別所得補償」では、当市にいかほどの公金が入ったのか。

⑪たばこ事業法廃止の件は、現在

**市長**

①国の厳しい財政状況を勘案する上、財源の確保は必要でありますし、一方住民の負担増や経済への影響、地方への影響も見極める必要があります。現段階ではどちらとも言えないと回答したものでした。

②平成24年度葉たばこ廃作農家は66戸、廃作農家の乾燥施設は148棟、当該乾燥施設の固定資産税額は約123万円です。また、償却資産については、農業をやめた場合、固定資産税は課税されません。

③風力発電施設の所有者である岩手県は非課税団体であり、固定資産税は課税されておりませんが、かわるものとして国有資産等所在市町村交付金を市で受けております。送電線の鉄塔施設は、固定資産税が課税されています。

も言えない」と回答しているが理由を伺う。

②葉たばこ廃作農家の乾燥室の戸数と固定資産税額を示し、償却資産の削除の動きもあれば伺いたい。

③市内の県営風力発電施設や送電線の鉄塔等施設の固定資産税の取り扱いはどうなっているのか。

④たばこ廃作農家の乾燥室の戸数と固定資産税額を示し、償却資産の削除の動きもあれば伺いたい。

⑤葉たばこ廃作農家の乾燥室の戸数と固定資産税額を示し、償却資産の削除の動きもあれば伺いたい。

⑥子ども手当について、現在のデフレの状況下では思い切った手当を考えなければならないと思うが、見解を伺う。

⑦民主党政権が発足して3年余りになるが、政治不信による責任が大変大きいと思う。市長の見解を伺う。

⑧TPP問題は、国内のマイナス部分を整理してから取り組むべきであり、第1次産業を主とする地方自治体はリスクが大きすぎると思うが見解を伺う。

⑨「人・農地プラン」「戸別所得補償」は、わずか3年余りの政策であるが、プラス・マイナスはどうだったのか。

⑩また、「戸別所得補償」では、当市にいかほどの公金が入ったのか。

⑪たばこ事業法廃止の件は、現在

①衆議院解散、動き出す政権、政策その検証、なかんづく、TPP、「人・農地プラン」、戸別所得補償、タバコ事業法廃止、子ども手当等々について

**市長**

①民主党政権が発足して3年余りになるが、政治不信による責任が大変大きいと思う。市長の見解を伺う。

②TPP問題は、国内のマイナス部分を整理してから取り組むべきであり、第1次産業を主とする地方自治体はリスクが大きすぎると思うが見解を伺う。

③「人・農地プラン」「戸別所得補償」は、わずか3年余りの政策であるが、プラス・マイナスはどうだったのか。

④たばこ事業法廃止の件は、現在

はどうなっているのか。また市長の見解を伺う。

⑤青森県の原発施設について、一大有事の際には無関心ではいられないと思うがどのように考えるのか。

⑥子ども手当について、現在のデフレの状況下では思い切った手当を考えなければならないと思うが、見解を伺う。

⑦民主党政権が発足して3年余りになるが、政治不信による責任が大変大きいと思う。市長の見解を伺う。

⑧TPP問題は、国内のマイナス部分を整理してから取り組むべきであり、第1次産業を主とする地方自治体はリスクが大きすぎると思うが見解を伺う。

⑨「人・農地プラン」「戸別所得補償」は、わずか3年余りの政策であるが、プラス・マイナスはどうだったのか。

⑩また、「戸別所得補償」では、当市にいかほどの公金が入ったのか。

⑪たばこ事業法廃止の件は、現在



鷹場美千雄議員

はどうなっているのか。また市長の見解を伺う。

⑤青森県の原発施設について、一大有事の際には無関心ではいられないと思うがどのように考えるのか。

⑥子ども手当について、現在のデフレの状況下では思い切った手当を考えなければならないと思うが、見解を伺う。

⑦民主党政権が発足して3年余りになるが、政治不信による責任が大変大きいと思う。市長の見解を伺う。

⑧TPP問題は、国内のマイナス部分を整理してから取り組むべきであり、第1次産業を主とする地方自治体はリスクが大きすぎると思うが見解を伺う。

⑨「人・農地プラン」「戸別所得補償」は、わずか3年余りの政策であるが、プラス・マイナスはどうだったのか。

⑩また、「戸別所得補償」では、当市にいかほどの公金が入ったのか。

⑪たばこ事業法廃止の件は、現在

はどうなっているのか。また市長の見解を伺う。

⑤青森県の原発施設について、一大有事の際には無関心ではいられないと思うがどのように考えるのか。

⑥子ども手当について、現在のデフレの状況下では思い切った手当を考えなければならないと思うが、見解を伺う。

⑦民主党政権が発足して3年余りになるが、政治不信による責任が大変大きいと思う。市長の見解を伺う。

⑧TPP問題は、国内のマイナス部分を整理してから取り組むべきであり、第1次産業を主とする地方自治体はリスクが大きすぎると思うが見解を伺う。

⑨「人・農地プラン」「戸別所得補償」は、わずか3年余りの政策であるが、プラス・マイナスはどうだったのか。

⑩また、「戸別所得補償」では、当市にいかほどの公金が入ったのか。

⑪たばこ事業法廃止の件は、現在

件、交付額は1億7400万円余りで、農家の底上げになつております。一定の成果があつたと考えております。

米の所得補償につきましては、平成22年度583件、約9200万円（追加交付4600万円）。平成23年度は775件、約5300万円が交付されております。



戸別所得補償制度の実績を問う

④民主党は、たばこ事業法を廃止し新たな法律を創設するとしておりました。たばこ事業法は現在も効力があります。当市は、引き続きたばこ事業法を含めた政策について注視して参ります。

⑤青森県六ヶ所村の原子燃料サイクル施設から二戸市までの距離は

77キロです。原子力規制庁によれば半径30キロ以内で拡散するといふ試算ですので、当市への影響は少ないと考えていますが、国等の動向を見ながら、安全確保に向けて対応して参ります。

⑥平成24年度からは、児童手当法に移行しており、市としては国の制度にのっとり手当の事務を行つて参ります。



畠中 泰子 議員

**東京都の広さに集約する無謀なごみ処理広域化は見直しを**

党議団は、環境省の回答を得て、破綻した無理な広域化、過大な施設整備・財政負担ではなく住民と現在の4市町村の連携・協力のござ行政推進ができると確信。8市町村と議会、住民が情報共有して議論・検討を早急に攻勢的構えで。

**不安な登下校をなくすスクールバス・タクシー運行の拡充を**

①旧淨法寺地域は小学生63・8%、中学生66・7%がスクールバス送迎。元々の淨法寺小・中学区の2kmでも利用し、子ども達の安全確保。



ごみ処理の広域化が議論されています  
(二戸地区クリーンセンター)

**安心できる国保に改善を**

23年度決算、国保世帯5531世帯の内901世帯は16・2%が滞納、標準化指数で1・09で全国平均より上、課税所得に対する負担率18・9で家計を圧迫。22年度の増税で市民に約束した基金と一般会計繰り入れなしの対応は余りに不誠実。市民への増税だけで黒字会計となつてていることは負担をかけているということ。

②度々、要望のある地域等は年度途中でも対応をします。

統一の取れた関係市町村の判断が必要と考えます。

③スケールバス・タクシーの運行のあり方については、平成24年度中に方向性を示せるよう努力しています。現在は、各小中学校の通学距離や公共交通機関の有無などを確認し、統合条件のあり方等を勘案するとともに他市の状況を参考にして検討を進めております。

淨法寺地区的運行は、旧淨法寺町の判断による運行で別物ではないかと考えております。不公平の問題については、不公平はあつてはならない、これが教育委員会の基本的なスタンスです。

④教育長





市議会会議録をホームページで  
公開しています！

市議会の定例会・臨時会の会議録（平成18年以降）を閲覧・検索できます。  
ご利用下さい。

市議会のホームページアドレス  
市議会のメールアドレス

<http://www.city.ninohe.iwate.jp/gikai/html/index2.html>  
gikai@city.ninohe.iwate.jp

## 一般質問の放送

カシオペアFM（周波数77.9MHz）

**FMラジオ** 各定例会の一般質問を録音し、カシオペアFMより放送しております。放送は定例会期間中及び定例会終了後に各1回放送しますが、詳しい放送日程は、議会事務局またはカシオペアFMにお問い合わせ下さい。

**インターネット** カシオペアFMのホームページから、一般質問を聞くことができます。（放送時間はFMラジオと同じです。）

【連絡先】議会事務局 23-3111（内412） カシオペアFM 23-8779

## 議会を傍聴して みませんか！



本会議は、受付簿に記入するだけで傍聴できます。また、市役所及び浄法寺総合支所の1階ホールでもテレビ中継を見ることができます。

※12月定例会の傍聴者は9名（延べ人数）でした。

- 平成24年第4回定例会**
- |                   |           |
|-------------------|-----------|
| ○11月26日           | 12月6日～18日 |
| ・平成24年第3回臨時会      |           |
| ・二戸市議会基本条例検討特別委員会 |           |
- ・本会議（6日）  
・一般質問（10日・11日）  
・本会議（12日）  
・常任委員会（13日）  
・本会議（18日）

○1月16日  
二戸市・三戸町・田子町議会  
議員協議会の視察

議会だより編集委員長

かかっている。

他力本願では駄目だ。我郷土でいかにして市民所得の向上を目指すかにかかる。

春よ来い。早く来い。

如月の4日、暦では今日立春となつてはいるが、相変わらず寒い日々が続く。

国の政権も変わり、デフレからの脱出のきわし、春が見えたような気がするのは私だけではないと思える。しかし、国の調査では製造業の就業者人口が51年ぶりに減ったとされた。その要因の一つとしては、工場主が海外の安い労働力を求めて、中国からタイ・ベトナム・インドにシフトしているためだと聞く。

## 議会活動のお知らせ

## 編集後記